

中間評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 期末への方策等
<p><b>【国語】</b> ○全国学力調査において、課題であった「知識・技能」含め、全体的に全国・東京都の正答率を上回った。 ▽記述式の問題の正答率について、全国・東京都との差が他の問題に比べてあまりない。</p>	<p>▼授業の中で、自分の考えをまとめる機会や共有する機会を増やしていく。</p>
<p><b>【数学】</b> ○4領域において、全国・東京都の正答率を上回っている。特にデータの活用における領域は+16.3ポイントと大きく上回った。 ▽数学の学習が得意ではない生徒が全体の16%を占めている。</p>	<p>▼授業の中でドリルパークやミライシードを活用して、基礎学力の向上を図る。 ▼授業の中で、自分の考えを言語化させる機会を増やしていく。</p>
<p><b>【理科】</b> ○2、3年とも大きな成果は得られなかった。 ▽区の結果でC、D層の合計が、2年で53%、3年で52.9%（昨年度50.6%）と半数を超えている。2年では観点で「知識・技能」、領域で「物理」「化学」分野で平均を下回り、3年では観点で両方とも、領域では「地学」分野以外で平均を下回った。</p>	<p>▼ICTを活用し、また、家庭学習の充実、基礎学力の定着を目指した授業展開・課題作成を工夫して行っていく。</p>
<p><b>【社会】</b> ○区平均と正答率を比較すると、「知識・技能」は4.4ポイント、「思考・判断・表現」は7.9ポイント上回った。また領域別では地理が3.7ポイント、歴史では7.0ポイント区平均を上回った。 ▽区の結果でC、D層の合計が、2年時で37.4%、3年時で40.0%と微増している。</p>	<p>▼授業の中でドリルパークやミライシードを活用して、C層、D層の基礎学力の向上を図る。</p>
<p><b>【英語】</b> ○5つの領域全てにおいて、全国・東京都の正答率を大きく上回っていることがわかった。 ▽まとまりのある文を書く領域が比較的低い。</p>	<p>▼書き手の意見に対する自分自身の考えとその理由をふまえてまとまりのある英文を書かせ、それを添削する機会を作るようにする。</p>
最終評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 次年度への方策等
<p><b>【国語】</b> ○GIGA 端末を使用して自分の考えをまとめ、意見を共有する機会を増やしたことで、各自の考えを深めることができた。</p>	<p>▼GIGA 端末を活用する機会を増やししながら、思考・判断・表現力の向上や基礎知識の定着を図っていききたい。</p>
<p><b>【数学】</b> ○ドリルパークを繰り返し取り組ませることで、基礎学力の定着を深めることができた。 ▽GIGA 端末を使用して、生徒同士の考えを深めるような活動の機会が少なかった。</p>	<p>▼短期休暇や長期休暇などで、ドリルパークを活用し、基礎学力の定着により力を入れていく。 ▼授業の中で自分の意見や考えを級友と共有できるような授業を展開していくために、教科の中で情報を共有していく。</p>
<p><b>【理科】</b> ○ICT（オクリンクを使用）を活用し、個別最適な授業、協働的な授業、思考力、表現力、判断力の向上につなげることができた。 ▽タブレット内でドリルの活用がほとんどできなかった。また、「実験」と「計算・問題演習」の授業時間数の配分が難しかった。</p>	<p>●継続してICTを活用した授業展開を心掛け、個々の生徒の学力を向上させる。また、授業の時短化を図り、実験や計算・問題演習の時間をバランスよく取り入れていく。 ▼よりICT（ソフト、デジタル教科書、デジタルドリルなど）の充実を図る必要がある。そのための継続的なミニ研修も必要。（最近、ICT支援員によるPadletに関するミニ研修を行った。）</p>
<p><b>【社会】</b> ○授業では生徒がGIGA 端末を使用して学習内容をまとめ、発表を行うなどにより思考・判断・表現の力を高め、知識・理解を深めていくことができた。</p>	<p>▼今後もGIGA 端末を使用した授業展開を行うこと、さらに定期的な小テストの実施やドリルパークを活用した知識の定着により力を入れていきたい。</p>
<p><b>【英語】</b> ○各単元末の言語活動を明確にし、それに向けて学習を積み上げることができた。</p>	<p>▼話すことに対する領域の取り組みに対して、書くことの領域の取り組みが少なかったため、自身の考えをまとまった英文で書く活動を増やしたい。</p>